

各 位

株式会社北里コーポレーション
代表取締役 井上 太綏

「生体試料収納用チューブ用キャップおよびそれを備えた生体試料収納容器」に関する
日本特許査定の取得のお知らせ

株式会社北里コーポレーションは、「生体試料収納用チューブ用キャップおよびそれを備えた生体試料収納容器」（特願 2022-544528）に関する日本特許査定を取得いたしましたので、ご報告いたします。

着床前遺伝学的検査で使用する生体試料とは、ヒト受精卵から生検される微小な細胞になります。生検される細胞の大きさは約 $\phi 0.02\text{mm} \times L:0.04\text{mm}$ と微量であり、取り扱いや検体容器（生体試料収納用チューブ）への移行の難しさが指摘されていました。

本発明は、確実かつ簡便に生体試料を検体容器内に収納することを可能とした生体試料収納用チューブ用キャップおよびそれを備えた生体試料収納容器を提供いたします。

この新しい技術により、生体試料の紛失を防止し、更に、検体容器内への保管が確実となることで、遺伝学的検査工程へ安全に移行することができます。それは同時に安定した着床前遺伝学的検査結果を導き出すことにつながります。

現在、本発明を用いた商品の開発および量産化の体制づくりを検討するとともに、外国特許の取得を進めています。定期的に進捗状況をご報告いたします。

以 上

＜用語解説＞

着床前遺伝学的検査

体外受精によって得られた胚が有する染色体の数的・構造あるいは核酸配列の遺伝学的情報を確認する検査（出典：公益社団法人 日本産婦人科医会「着床前遺伝学的検査」<[\(4\) 着床前遺伝学的検査 - 日本産婦人科医会](#)>2025年11月19日最終閲覧）。不妊症および不育症を克服するための治療において、必要に応じて選択的に用いられる補助医療技術の1つであり、世界的に広く応用されている技術（出典：公益社団法人 日本産科婦人科学会「着床前胚染色体異数性検査における胚診断指針」2022年2月1日）。